

2023年3月27日
株式会社三菱UFJ銀行

株式会社商船三井にて
「トランジション・リンク・ローンによるグローバル・クレジット・ファシリティ」を締結

株式会社三菱UFJ銀行(取締役頭取執行役員 半沢 淳一、以下「当行」)は、株式会社商船三井(代表取締役社長 橋本 剛、以下「商船三井」)との間で、商船三井が策定したトランジション・ファイナンス・フレームワーク(以下、「本フレームワーク」)に基づき、トランジション・リンク・ローンによるグローバル・クレジット・ファシリティ契約(以下、「本ローン」)を締結しました。

本ローンは、商船三井が「商船三井グループ 環境ビジョン2.1」にて掲げるトランジション戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下、SPTs)を設定し金利条件と連動させ、トランジション戦略の実現に対する動機付けを付与することで、脱炭素化に向けた段階的な取組を着実に推進させることを目的としております。

(本ローンの契約概要)

| | |
|-------------|---|
| (1) 借入人 | 株式会社商船三井 |
| (2) 借入金額 | 500 百万米ドル |
| (3) 契約期間 | 5 年間 |
| (4) 契約締結日 | 2023 年 3 月 27 日 |
| (5) 資金使途 | 運転資金 |
| (6) 第三者評価機関 | DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社 |
| (7) KPI | エネルギー効率運航指標(EEOI)* |
| (8) SPTs | 2019 年を基準年として、2035 年に EEOI45%削減を達成するために、 毎年の EEOI 目標削減率を SPT として設定 |
| (9) ローン特性 | SPTs の達成状況により変動 |

*船舶運航時における単位貨物重量・輸送距離当たりのGHG排出量を示す指標。

本フレームワークは、国際資本市場協会「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック(2020)」、経済産業省・環境省・金融庁「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針(2021年5月)」並びにローン・マーケット・アソシエーション他「サステナビリティ・リンク・ローン原則(2021)」、環境省「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に適合する旨の第三者評価を、DNVビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より取得しております。

◆「商船三井グループ 環境ビジョン 2.1」については以下をご参照ください。

<https://www.mol.co.jp/sustainability/environment/vision/index.html>

◆DNVビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社の第三者意見書については以下をご参照ください。

https://www.dnv.jp/Images/IP_MOL_Transition_SLL_SPO_2021Oct26_publish_rev1_tcm29-210700.pdf

MUFG は、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義(パーパス)と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまのカーボンニュートラルの達成に向けたトランジションの基盤構築・ファイナンス提供をはじめ、お客さまのESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以上